

CASBEE[®]さいたま2016年版 | 評価結果 |

■使用評価マニュアル: CASBEEさいたま2016年版

使用評価ソフト: CASBEEさいたま2016ver.1.0

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	さいたま市立中等教育学校(仮称)整備事業 校舎	階数	地上4F
建設地	埼玉県さいたま市大宮区三橋四丁目96番	構造	RC造
用途地域	校舎側:第二種中高層住居専用地域、準防火地域	平均居住人員	1,033 人
地域区分	5地域	年間使用時間	1,800 時間/年(想定値)
建物用途	学校	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2022年1月 竣工	評価の実施日	2017年8月1日
敷地面積	24,771 m ²	作成者	渡辺武義
建築面積	5,515 m ²	確認日	2017年8月3日
延床面積	13,530 m ²	確認者	飯田順一



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)	2-2 ライフサイクルCO ₂ (温暖化影響チャート)	2-3 大項目の評価(レーダーチャート)
<p>BEE = 2.0</p> <p>S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★</p>	<p>標準計算</p> <p>30%: ★★★★★ 60%: ★★★★★ 80%: ★★★★★ 100%: ☆☆ 100%超: ☆</p> <p>このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです</p>	<p>Q2 サービス性能: 5 Q1 室内環境: 4 Q3 室外環境(敷地内): 3 LR1 エネルギー: 2 LR2 資源・マテリアル: 1 LR3 敷地外環境: 1</p>

2-4 中項目の評価(バーチャート)		
<p>Q 環境品質 Qのスコア= 3.7</p>		
<p>Q1 室内環境 Q1のスコア= 3.6</p>	<p>Q2 サービス性能 Q2のスコア= 3.6</p>	<p>Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア= 3.9</p>
<p>LR 環境負荷低減性 LRのスコア= 3.6</p>		
<p>LR1 エネルギー LR1のスコア= 3.9</p>	<p>LR2 資源・マテリアル LR2のスコア= 3.8</p>	<p>LR3 敷地外環境 LR3のスコア= 3.2</p>

3 設計上の配慮事項		
<p>総合</p> <p>キャスビーさいたまの評価について、対象となる校舎のある学校敷地Aを評価の対象としました。学校を利用する生徒や職員への環境の配慮、及び住宅地である敷地周辺の環境に対してまちなみ・景観に配慮した計画としています。また、可能な限りの緑化を計画し、地球温暖化に配慮しています。</p>	<p>その他</p> <p>敷地南側にある古墳の保護に配慮しています。</p>	
<p>Q1 室内環境</p> <p>中等教育校としての室内教育環境を目指して、昼光の確保、LED照明機器の採用、人感センサーの設置、建物の高断熱化、空調換気扇とCO₂センサーの連動などを行い、室内環境の確立と無駄のないエネルギー消費を目指して</p>	<p>Q2 サービス性能</p> <p>教室の天井高さを2.9m程度と広がり考慮してしています。また、床・壁の一部に木材を使用し、ぬくもりを感じさせる空間としています。</p>	<p>Q3 室外環境(敷地内)</p> <p>建物高さを15m以下に抑え、壁面緑化、外構緑化することによるまちなみ・景観の配慮をしています。</p>
<p>LR1 エネルギー</p> <p>外皮において、断熱材による内断熱、複層ガラスを使用した窓を考慮し、熱負荷抑制に配慮しています。</p>	<p>LR2 資源・マテリアル</p> <p>節水、雨水利用施設による水の利用を考慮、エコ材料の使用による環境の配慮をしています。</p>	<p>LR3 敷地外環境</p> <p>敷地内の緑化、建物屋上緑化、壁面緑化をして地球温暖化に配慮しています。また、駐輪場、駐車場を設置し、交通負荷の抑制に配慮しています。</p>

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される